

令和6年度 環境まちづくり基金活用事例

① 公用車におけるZEVの導入（市所有車両管理事業） 466,620円

ZEV（ゼロエミッション・ビークル）とは、走行時に二酸化炭素等の排出ガスを出さない乗り物のことで、電気自動車（EV）や燃料電池自動車（FCV）などが該当し、従来のガソリン車と比較して大気汚染や地球温暖化等環境問題の改善につながると言われています。

吹田市では、公用車からの温室効果ガス排出量を削減するため、公用車の電気自動車への切り替えを順次進めています。



令和6年度 環境まちづくり基金活用事例

②まちなか水族館の水槽購入(自然共生事業) 628,100円

水辺の自然環境保全の大切さを感じてもらうため、市役所内に大型水槽を設置し、琵琶湖・淀川水系に生息する身近な淡水魚を展示しています。



③マイボトル給水機(環境政策事業) 1,848,000円

「使い捨てプラスチックの削減」「熱中症の予防」「マイボトルを常に携帯するライフスタイルへの転換及びその定着を図ることで地球温暖化対策に資すること」を目的に、公共施設にマイボトル用給水機を設置しています。

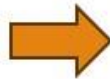


令和6年度 環境まちづくり基金活用事例

④LED化リース費用(環境政策事業) 84,211,402円

公共施設139施設について環境部主導による照明の一括LED化をリース方式により実施し、令和6年度よりリースを開始しました。

LED照明は消費電力が小さく耐用年数の長い
ため、省電力化及び維持管理費の低減につながります。



LED化



⑤卒煙支援ブース(環境美化事業) 2,623,500円

江坂公園と豊津公園において、卒煙支援ブースの使用を開始しました。

卒煙支援ブースは、禁煙を促す密閉型喫煙所でたばこの煙やにおいが漏れにくくなっており、ブース内では禁煙を促す動画の上映を行い、喫煙者に対して禁煙を意識するきっかけづくりを行っています。

